

2016年度前期 授業改善アンケート

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
関口	2	CD	Cプログラミング及び演習	TAの先輩が周ってくれるのはありがたいが、できない人にずっとついていてできて人がずっと待っているのはおかしいと思います。（長くなりそうなら近くにいる人を先に見てからできない人に教えるといいと思います。） 課題チェックで手を挙げているのがつらい。 チェック待ちの時間が無駄なように思えた。	Visual Studioを複数立ち上げてチェック待ちをしながら並列で次の課題に取り組むなど工夫している学生も毎年多くいます。来年以降はそういうやり方を授業の中で紹介していこうと思います。
				配布資料に、ヒントを多めに載せて欲しいです。 例題が適当で良いと思った。強いて言えば応用例題でつまずいて思考停止時間ができてしまっていたので、もう少しヒントを小出しにして欲しい。	講義中も言いましたが、応用課題はプログラムというよりアルゴリズムを考える課題です。考えるための課題に対しヒントを多く出しすぎるのは適切ではないと考えています。社会の中で直面する問題にヒントを示してくれる人なんていないですよ。 演習課題については次回の講義資料や小テストなどで答えやそれに準ずるものを示しているので問題は無いと思います。
				最後の方の応用課題がエグかったです。 色々なレベルの問題があってよかったです。 課題が難しかった。	応用課題を指していると思いますが、演習課題だけでもプログラムのレベルはかなり上がっています。自信を持ちましょう。
				プログラムを組むのが楽しかった。是非他の言語のプログラミングもやっていきたい。	プログラミングは自学しやすいので是非積極的に取り組んでください。
				演習を減らし、かいせつをもっと詳しくやってほしい 演習問題の量がちょうどよかった。 演習が多く理解しやすかったのでよかった。	プログラムは解説よりもいろいろ試行錯誤することで理解が深まる部分が多いと思っています。知識としては必要な部分はカバーしているので、全体での解説をこれ以上増やすよりも、個別に理解が曖昧な部分を質問してもらったほうが、講義全体として良いと考えます。
				理解できない箇所は質問するととても丁寧に優しく教えてもらえた。 TAを増やしてください。 TAを増やしてください。	TAがよく頑張ってくれた成果だと思っていますが、これ以上TAを増やすことは難しいです。
				前半もう少しペースを挙げても良いと思う。	後半の難易度と比べるとそう感じるかもしれませんが、前半の知識をしっかり固めておかないと後半の問題には歯が立ちません。そのためこれ以上のペースアップはむしろ後半の理解の妨げになると考えています。
				後ろに座っているとプロジェクターの字が見えづらかったので前の照明を消して欲しいです。	極力消していましたが、消せるラインが中途半端なため見えづらかったかもしれません。スライドも配布しているので基本的には問題ないと思いますが、細かい部分などで見づらい部分は教室全体を消すなどした方が良かったかもしれません。いずれにしてもその場で指摘してくれないと対応できないので、声をかけてください。
				課題を出す際にアンケートに答えないと行けないような仕様にすればアンケート回答率が上がると思う。	いい案ですが、アンケートを匿名にすることを考えるとシステム上難しいです。来年以降も地道に呼びかけようと思います。
宮坂	2	CD	材料力学(1)	webclassにもスライドをのせてほしい	資料は配っているので不要なはずである。Webclassへ載せる理由を記載すること。
				わかりやすいです	
				3年かかって、ようやく理解できました。	
				単位とれそうです。	
				小テストがありとても分かりやすい。	

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答	
野中	3		ロボット制御 プログラミング	いいペースで授業が進んでいた。	〔授業ペースについて〕 クォーターに関する意見がたくさんありました。1週の授業回数は2倍になりますが、授業科目数は半分なので、トータルの勉強量は変わりません。課題にじっくりと取り組むための時間確保の自由度が減ったことが、大変だったという感想につながったと理解します。一方で、課題の達成度や授業の理解度はどちらかというと上がりましたから、教育効果に関する明確な判断はできません。次年度は課題の配置や締め切りの設定を調整して改善したいと考えています。	
				週2のペースでやるので忘れないうちにできてよかった。		
				クウォータ制もあいまって、中々深く考える時間が取れなかった		
				クウォータ制の弊害か、授業時間外でプログラムを完成させることが難しくなりました。		
				少し課題が難かしすぎるところがあって大変だった		
				クォーターになって宿題をやる期間が短くて大変だった		
				授業そのものはすばらしいと思うがスケジュールに無理がある。		
				授業内演習の時間は短く、課題の提出期限も近い。クォーター制には向いていないと感じる。		
				クォーターになったので、月曜日の課題の締め切りも木曜日の課題の締め切りに合わせてほしい。		
				クォーター無理		
				周2は辛い（課題が）		
				週2回講義が行われると課題がとても忙しい		
				クォーターになってなかなか時間がとれなかったりするので題出の期限の延長してほしい		
				クォーターは大変です。		
				クウォーターで一週間で進むペースが早く、追いつくのが大変だった。		
				プログラムの提出期限が短いため、考えてプログラムを作成できない		
				内容はとてもわかりやすく理解を助けてるものだと感じましたが講義時間内に終わらせてほしい		
				わかりやすいです。		〔資料や説明について〕
				プリントが分かりやすかった。		説明については概ね良かったということですね。時間配分から一部早口になってしまった部分は改善したいと思います。ODEのプログラムやグラフ描画は自分のPCでも作業可能です。尋ねてほしかったなあと思いました。
				授業内容が1枚のプリントにまとめてあるのがとても便利でよかった。		
特に、A3のプリントでまとめてあると扱いやすかった。						
プログラミングがあまり得意でなくても、ついて行くことができた。						
わかりやすく、良かった。						
課題の説明をしてくれることにより、よりわかりやすくなって良かった。						
前のスライドで同時に説明してくださって助かってます						
全体を説明した後に進み始めるので、自分の中で今やっている部分がどういった意味なのか考えながらおこなえたのでよかった。						
プログラミングがおもしろいと思えるようになりました。						
スライドやプリントでとても分かりやすかった。						
プリント類（PC画面）などとても見やすくわかりやすかったです。						

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答	
野中	3		ロボット制御 プログラミング	とてもわかりやすいプリントであったが枚数多くてまとめるのが大変だった。		
				とても丁寧に説明してくれてとてもわかりやすいです		
				スライドを上手に使った説明で誰よりも効率良く、分かりやすい講義です		
				小テストや演習があるのでしっかり身に付くような気がします		
				理解しやすかった。		
				授業わかりやすかったです。		
				プリント・演習課題がわかりやすく理解につながった。		
				説明がわかりやすかった。		
				スライドがとてもわかりやすく、理解度が高まった。		
				配布資料が非常にわかりやすくて助かった。		
				プリントがカラーだと更にわかりやすい。		
				説明がわかりやすく、演習に移りやすかったです。		
				今まで習っていないプログラムにかんしても余談程度で良いので少し触れて いただきたかったです。		
				もう少し説明をゆっくりしてほしい		
				速くてついていくのが大変でした。		
				最後のほうが難しかった		
				授業でプログラムの演習する時、毎回大学のパソコンで行う必要があったので 大変だった。		
				今までのプログラミングでは計算のみを扱ったが、ODEを使い、実際に目で 見て動きが分かったので、是非これからも続けてほしい。		〔内容について〕 授業目的の一つである、制御プログラムについて、学ぶ意義が伝わったようで良かったです。次年度はアルゴリズムの組み立てについて、もう少し踏み込んだ説明をしたいと思います。
				ただプログラミングをするだけでなく車を動かせたりして、楽しかった。		
				自動車などで最近流行っている自動制御の裏を勉強できている気がしてとても 有意義		
この授業で得られたものはとても身になったと思う。						
今までは単にプログラムを動かすだけでしたが、この授業でプログラムでど のようにロボットが動くか実感できた気がします。						
数学の理論式をプログラムにつなげる過程が面白く感じました。						
今まで制御についてよくわかっていなかったが、制御がどんなものか分かっ た。						
プログラムを作った後にシミュレーションができることが楽しかった。						
アルゴリズムの組み立て方そのものにもう少し重点を置いてほしかったです。						
プログラムの課題に対する答えを毎回示してほしいです。						

2016年度前期 授業改善アンケート

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
野中	3		ロボット制御 プログラミング	教室が少し寒いです。	〔授業環境等について〕 教室の温度などはその場で意見してほしいと思います。電源は設備の問題なのですぐに解決するのは難しいですね。TAの増員は予算上困難です。
				自分のPCを使うには電源が少ないです。	
				TAが親切に説明してくれてよかった。	
				やはりTAの数が（生徒数に対して）足りない	
野中	3		制御システム 設計	授業の内容・宿題のボリューム的にクォーターは短く感じた	〔クォーター等について〕 週2回の授業で宿題をする時間確保の自由度が減ったと思いますが、課題の達成度や授業の理解度は昨年度から大きな変化はなかったと判断しています。毎回の課題の配分は工夫したいと思います。
				宿題の量を調節してほしい（クォーターのため）	
				仕方がないと思うが、クォーターだとこの課題の量は大変でした	
				課題の量は調度よかったです（クォーターで忙しいので）	
				クォーター制度はやめてほしい。	〔スライドについて〕 全体として見やすいが、一部判別しにくいところがあった、ということでしょうか。カラー印刷の配布はコスト上難しいのですが、来年度からはPDFを事前にウェブなどで配布したいと思います。
				ただひたすらに課題をやる時間が足りなかった。時間さえあればできた課題だった。残念だ。	
				グラフが色分けされていて、とても見やすかったです。	
				パワポなどを効果的に用いていて分かりやすかった	
				スライドを友好的に使っていてとても分かりやすい講義でした	
				スライドがもう少し見やすいものだと思いました。	
				プリントに水色を使っていたと思うのですが、白黒印刷だと消えてしまうので、いっそ学生に書かせてしまった方がいいと思いました。	
				スライドが白黒で印刷されると見えにくいところが合った。カラー配布が各自印刷の方がいいと思います	
				プリントの図が見にくかった。	
				プリントのグラフは白黒なので、破線等、線の種類を変えると見やすくなると思う。	
				たまにスライドが見にくかった。	〔小テストについて〕 解説を授業内にする時間がとれないので、詳細な解説を記載したPDFを示しました。
				小テストの解答を毎回pdfで載せてもらえるのが復習の役に立ったので良かった	
				小テストの解説をもっとやってほしい	
				小テストなどが理解の定着につながりよかった。	〔説明や時間配分について〕 説明や話し方は概ね大丈夫だったと理解します。時間が不足して、急ぎ足になった事が何回ありました。次年度はペース配分を改良したいと思います。ソフトウェアの操作等はプリントで補足説明できますね。検討します。
				毎回の授業の構成が良くできていてわかりやすかった。	
2年後期に履修したシステムダイナミクス及び演習で理解できなかったことについて、十分に復習できたとともに新たなことについても興味を持って理解できた。PCを用いたシミュレーションが良かった。					
とても分かりやすい授業でした					
具体的な説明が多かったので分かりやすかったです					
難しかったですが、シスダイで分からなかったところがわかったので良かったです					
よかったです					

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
野中	3		制御システム 設計	分かりやすい授業で良かった	
				分かりやすかったです	
				全体を通して分かりやすかった	
				制御についての考え方がわかってよかった	
				システムについて興味が持てました。	
				課題がちょうどよかったです。	
				分かりやすかったです。	
				コメントへの返答してくださったのはうれしかったです。	
				プリントのおかげで理解することができました。	
				すごく身になる授業でよかった。	
				分かりやすい説明ありがとうございました。	
				時々ペースが速いと感じましたが、大体理解できたと思います	
				普段の声に聞き取りやすかったです。たまに早口で聞き取りにくい時がありました。実用性のある素晴らしい授業でした。受講して良かったです。	
				分かりやすかった。最後の方が時間ぎりぎりになってしまうのを改善してほしいと思いました	
				講義時間が時間内に終わらないことが多かった。	
				授業の最後の方がスピードがスピードが速くなるのが多かったので、時間をもう少し調整してほしい。	
				授業のペースをもう少し遅くしてくれるともっとよくなると思います。	
				座学は分かりやすいが、演習の説明のスピードが速すぎて作業工程についていけなくなってしまうことがある。	
				授業のペース配分をもう少し考えてほしい。理解が深まるように手計算等をやるじかんがあるのは良いと思う。	
授業に出れば問題のないことですが、web classの小テストや課題が、一度解いたものでないと見られないのが復習に役立てられず残念					
vectorlocusのようなソフトのつかいかたをプリントに纏めてくださると、やりやすいです。					
グラフ出力の時、早いことがあって追いつけないことが多々あった					
野中	1	CD	技術日本語 表現技法	クォーター制としてでなく、前期or後期の科目として受講したかった 課題が短期間に多くでてきて忙しかった クォーターだったので、授業のペースが早かった。今回レポートを完成出来たのは、TAさんのサポートが大きかったと思います。 クォーター制になったせいかとともスケジュール的に厳しかった。 クォーター制を廃止すべきだと強く思う	〔課題量と進行スピードなどについて〕 今年度からクォーター科目になって、授業も週2回になりましたが、課題配置を大きく入れ替えて、達成可能なペースにしたつもりでしたが、それでも大変と感じた人が多かったようですね。来年度は、さらに工夫したいと思います。

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
				<p>クォーター制で行うには辛い授業な気がする</p> <p>レポートの研究期間が短かったのでクォーター制はやめてもらいたい。</p> <p>プレゼンをあつかうのでやるが増えるのはしょうがないがクォーターにこの授業をいれるのはやめてほしかった</p> <p>クォーター制のため課題提出までの日数が少なく、考え尽くすのに時間が足りなかった。</p> <p>クォーター制でこの課題の量は他教科の予習・復習を考えたらおかしいと思う。また、発表の時期を期末試験期間にするのは望ましくなかった</p> <p>週2回授業があるので課題に時間をあまり割く事ができなかった。</p> <p>クォータ制で時間が短く大変である</p> <p>クォーター制を悪く言うつもりはありませんが、期限が短いことが印象に残った</p> <p>とても忙しかった</p> <p>もう少しレポートを書く時間が欲しかった</p> <p>週2で授業があり、ほぼ2日で1つのあるの内容の課題をやるのはきつかったです。</p> <p>修行が週2回だったので、課題の提出期間が短かったのでとてもきつかったです</p>	
				<p>発表は時前の準備が必要であることをわかっているならテストにかぶせるのは、理解できなかった</p> <p>宿題の提出が量に対して早すぎた。</p> <p>クォーター制が影響しているのか</p> <p>この授業をクォーターに入れることがバカ</p> <p>課題の量が多く、頻度も多いので他の授業に時間を割けない</p> <p>発表会を期末テストと被らせるのもバカ</p> <p>レポート作成に時間を割いた割には発表会で配らないなど意味わからん</p> <p>授業中の読書の時間いらない</p> <p>課題の提出期限が短すぎる</p> <p>発表をテスト期間にかぶせないで欲しい</p> <p>最後のパワポの課題をもう少しゆっくりとやらせてもらいたいです</p> <p>最初の頃は週2で課題も多く面倒くさいと思っていたが、おわってみると達成感があったし、wordやPowerPointの能力も向上できてとてもよかった</p> <p>PowerPointの作成の時間をもっと授業内で取って欲しいと思いました</p>	<p>〔発表会の時期に関して〕</p> <p>自由課題レポートの発表会を休講の補講日として試験期間に設定しました。発表会の実施日については、ほかの授業科目の試験の時間割を考慮し、日程に関する希望調査のアンケートも行い、十分配慮したつもりですが、クレームが多かったのは残念でした。次年度の授業については、よく検討したいと思います。</p>

2016年度前期 授業改善アンケート

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
				<p>期末テストで後半の方をやっていなく、失敗してしまったのですが、自分なりに発表など他のことはしっかりと出来たと思うので良かったです。これから学んだことを役立てていきたいです。</p> <p>レポートの作成やPP発表は非常に達成感のあるものだった</p> <p>これから発表する機会が学部上多々あると思うが、その基礎を学べる大変有意義な授業でした</p> <p>授業では将来に役立つことをやってくれたのでとても実践的だった</p> <p>発表がとても楽しく行えていて、更に充実していてとても満足です。</p> <p>発表はあまりうまくできなかったけど、最後褒めてもらえて嬉しかった。</p> <p>プレゼンの力が身についた</p> <p>TAがいろいろ教えてくれてよかった。</p> <p>TAの先輩の採点でへりくつにはまいったが、発表は面白かった。</p> <p>テーマのかぶりは結局許されるのかと思った。</p> <p>確認の小テストを間違えた問が表示されるようにしてほしい</p> <p>略称を考えるのに頭を使った。ワザニチ</p>	<p>〔感想など〕</p> <p>課題が多く忙しい授業だったとは思いますが、勉強した甲斐があったと思ってくれたのは良かったと思います。課題量、WebClassのコンテンツ、授業順序、発表日等は次年度に改善したいと思います。</p>
野中	2	AB	Cプログラミング及び演習	<p>先生もTAさんも優しく丁寧に教えてくれたのでプログラミングが苦手な自分でもどーにか授業内課題は追いつけました。ありがとうございました。</p> <p>とてもわかりやすく、ためになりました。ありがとうございました。</p> <p>とってもわかりやすかったです。他の授業も野中先生でとりたいです。</p> <p>難しそうなところも丁寧に教えてもらったので最後まで授業についていくことができました。</p> <p>良い授業でした</p> <p>すごくわかりやすかった</p> <p>1つ1つ細かく教えもらった</p> <p>授業内容についていけないときも先生やTAさんが丁寧に教えてくれ助かりました。</p> <p>効率よく覚えることができた</p> <p>プログラミング基礎の時にわからなかった部分を理解することができ良かった。</p> <p>今までできなかったプログラミングも前よりできるようになりました。とてもいい経験になりました。</p> <p>プロジェクターに書き込んで説明していたのがわかりやすかった</p> <p>プログラミングが早くできるようになった。</p> <p>課題のペースが早く大変だったが、できるようになると達成感が大きかった</p>	<p>〔説明について〕</p> <p>概ね好評だと理解します。</p>
					<p>〔演習について〕</p> <p>課題はやや難しい程度が、学習効果が最も高いと考えています。一部の課題については、確かに改良の余地があるので、次年度に改善を試みます。</p>

2016年度前期 授業改善アンケート

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
				<p>難しかったが、回を重ねるごとに理解できるようになった。</p> <p>演習が多くてしっかりと技術が身についた</p> <p>授業内課題が多い</p> <p>難しい課題もあったが楽しかった</p> <p>少しはできるようになった。</p> <p>中間試験が終わってからの応用課題が難しいいうえに時間がなすぎた</p> <p>課題が難しいものが多かった。</p> <p>後半ムズかしかった</p> <p>後半からほぼ理解できなかつた。</p> <p>応用が少し難しかった</p> <p>文が長くなるとどこで何をやっているかわからなくなった。</p> <p>プログラムのチェックをしてくれるTAの人数をもう1人くらい増やすといいと思います。</p> <p>TA増やしてほしいです。</p>	<p>TAの増員については、予算の関係上困難です。</p>
				<p>配布資料がわかりやすくてよかったです。</p> <p>配布プリントが分かり易かった。</p> <p>小テストの回答が欲しい。</p> <p>重要なポイントがわかりやすくてとも理解が深まりました。応用課題のヒントなどをもう少し増やしてもらえると嬉しかったです。</p>	<p>〔配布資料について〕</p> <p>小テストの回答はWebClassの設定を工夫して示すようにしたいと思います。応用課題の説明は工夫の余地があるので改善したいと思います。</p>
				<p>応用課題のプログラミングの知識を数学などに使うのが難しかった。楽しかった。</p> <p>行列の計算ができるプログラムが組めて良かった。</p> <p>4次のルンゲクッタによる近似が実用性が高くよかった</p> <p>数学が難しかったです。</p> <p>mallocの概念がわかりづらかったです。図で小案が得たときに少しわかつた気がしました。</p> <p>プログラミング基礎より難しかったが少し複雑なプログラムをかけるようになって良かった。</p> <p>webclassでの提出を忘れることがよくあつた</p>	<p>〔演習課題の内容他〕</p> <p>数学の知識は専門科目の基礎になります。応用課題では、プログラムへの実装を学びました。高学年の授業に活かしてほしいと思います。</p>
金宮	3		振動工学	<p>小テストの説明がほしい。</p> <p>小テストの分配が大きすぎる</p> <p>小テストの範囲が分かりにくかつた</p> <p>板書を消すのが早いときがあつた。</p> <p>声が小さい。黒板が見づらい。授業がめかつづらい</p> <p>英語を入れないでほしい、分かりにくい</p>	<p>小テストの解説が必ず行っていると思います。範囲が前々回～前回になっています。50%の分配とは毎回の授業をよく理解するための進み方です。小テストへの準備、是非積極的に取り込んでください。</p> <p>板書の消し方と声の大きさについて今後改善したいと思います。黒板が見づらいの問題に関しては前の席を使うようにおすすめいたします。</p> <p>大学のポリシーは積極的に英語を学ぶことです。この授業はそれの一環です。このような機会を是非取り込んでください。</p>

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
永野	1	CD	機械工作 実習	テキストにメモを書く場所があるとうれしいです。（同様意見3件）	検討します。
				まともなちりとりがほしかった。（同様意見1件）	ちりとりを使う時の工夫についてはアドバイスしましたし、十分に使用に耐えるものだと思います。
				テキストのテーマごとにメモが入っていると、後で報告書にまとめるときに取りこぼしがなくなると思う。	我々はテキストを用意し、授業時に説明し、質問されれば答えています。取りこぼしがなくなるように努力すべきなのは学生自身です。
				旋盤において、最初の1時間ですべての説明を受けてから作業をやっても覚えきれない。	まずメモを取ることでですね。メモを取りきれない場合は、質問してくれば答えています。
				楽しかった！	それは何よりです。
				自分の手で直接触れて加工することで、ものづくりに対するイメージが湧きました。とても良い授業だと思います。	
				担当の先生が操作方法を丁寧に教えてくれてよかった。	
				レポートの時間がもっとほしい。	限られた時間内で仕上げることも大切です。この科目のレポートの分量を考えると、締切までの期間が不足していたとは思いません。
				クォーター制に反対です。	この科目はクォーター制ではありません。
永野	2	CD	熱力学(1)	WebClassの問題がテストでの得点率UPにつながり、勉強もできたので、とてもよいと思った。（同様意見8件）	WebClassでの演習に意義を感じてくれたようで何よりです。 まだまだ工夫の余地があるようですので、今後も引き続き改善していきます。
				WebClassで復習問題ができるのは、自分がどこを理解していないのか確認できるのでよかった。	
				WebClassでの出題は電車内などでも使いやすいのでぜひ続けてほしい。（同様意見3件）	
				WebClassの問題は小分けにしないほうがやりやすい。	
				WebClassの問題は出題ではなくテキストでしてくれたほうが勉強しやすかった。	
				演習をPDFで解説と一緒にWebClassに載せてほしいです。学校でコピーして、家で勉強したいです。授業中の解説はメモをとる程度で話を聞きたいので、解説のスライドもコピーしたいです。（同様意見1件）	
				演習の解説をもっと丁寧にやってほしい。	演習問題でわからないことがあれば質問してください。
				演習の問題量がテスト時間と比べて多いと思います。（計算量など）	解答時間については今後配慮します。
				もう少し演習があってもよかったと思う。穴埋めだと考えることがあまりないので…（空欄の言葉はある程度推測できるけれど、結局先生の言葉を書くため）	
				メールの連絡がまめでよかったです。	
理論・公式だけでなく、グラフや系の図がアニメーション付きでスライドに添付されていてわかりやすい。（同様意見4件）	スライドがわかりやすいと感じてくれたようで何よりです。 穴埋め箇所については今後工夫しますね。				
スライドは見やすいのですが、穴埋めのところが小さくて字が書きづらいです。（同様意見4件）					

2016年度前期 授業改善アンケート

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
				スライドのどこが穴埋めになっているかわかりにくいところがあったので、カッコでくくるなどの工夫があったほうが良いと思う。	
				講義のスライドは、現象のイメージをつかむのには良かったが、理解し、自分の知識とするにはあまり使えなかった。特に、気体の分子運動論などの式の証明は、黒板に書き、その場で流れを説明したほうが理解が深まり易いと思う。また、講義内容の理解は、実際に手を動かしたほうが理解度が良い。したがって、もしスライドを主にして講義を行うのであれば、演習問題や例題をもっと増やし、自分で解く機会を増やすべきである。例題や演習は各講義内で行うべき。	「理解し、自分の知識とする」ためには学生自身の主体的な学習態度が必要です。そのためにはご指摘のとおり、実際に手を動かしたほうが理解度は高まると私も考えているのですが、そうすると書くことに精一杯になり、考えが追いつかない人が増えてしまうのではないかと考えています。 後半に書いてある意見は、スライドを主にして、演習を自分で解く機会を増やすべきということですが、それは各自で自宅学習すればいいことですよ。
				授業のやり方はこのままで良いと思います。（講義回と演習回を分けること）（同様意見2件）	
				授業は、今学んでいる内容が実際にどのようなところで使われているかを説明して下さるので理解しやすいです。	
				テストの採点が早いのはいいが、精度が荒い。そして謝らないのはどうかと思う。	テストの採点後に正否を修正したのは1名だけだったと記憶していますが、それも採点ミスだったのではなく、「完全に間違っているというほどでもないし、大意に影響はないので大目に見てマルにした」のです。厳密に採点するならばバツでした。
				プリントの印刷くらいしてほしい。	「印刷くらい」というのなら、印刷くらい自分でしてください。授業のはじめに、モノクロ/カラーの違いや印刷サイズなど、個人の好みで印刷してください、と説明しました。
				少し説明の早いところがあったので、もう少しゆっくり説明したほうが良いと思った。（同様意見2件）	すみません。以後気をつけます。
				再履修の人は研究室がままならない。	それは自己責任です。
				気体の分子運動論に関してはもう少しわかりやすく作ってほしかった。（式の補足など）	ご意見ありがとうございます。ただ、どの式がどのようにわからないのかを具体的に書いてくれませんか。式の展開については何一つ省略してませんし、説明もすべて書いてあります。それでもわからないのなら、どのようにわからないかを教えてください。
				休講情報が出ているのに授業を行うのは改善してほしいです。	すみませんでした。完全に私のミスでした。
				近くなった中間試験のために急ぎ足につめこんだ講義を行われることは誰に利点があるのでしょうか。	私が休講連絡を間違えてしまい、本来の講義スケジュールに追いつくために急いでしたことが原因です。すみませんでした。
				週に2回授業があるので、予習・復習の時間が足りない。（同様意見6件）	クォーター制についてのみなさんの意見を聞いてよかったですと思います。メリット・デメリットそれぞれあるようですので、今後教員側も工夫していきたいと思います。
				授業の間が非常に短いため、十分な定着の前にテストがきてしまう。（同様意見5件）	
				授業間隔が短くなるので、短期で集中的に学習できるのは自分には効果的ではあった。（同様2件）	
				1週間に学習する科目が少ないので集中できる。（同様意見1件）	

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
				<p>クォーター制は週2回の講義があり、内容が頭に残っている状態で定期試験に臨めるので、試験の結果はよくなるかもしれないが、内容の復習回数が減少し、最終的な知識の定着は下がる気がする。（同様意見1件）</p> <p>テストが分散して、テスト期間中のテストの数が減るので、勉強しやすくなるのはいいと思った。</p> <p>クォーター制の前半と後半の間に再び履修登録期間を設ければかなり効果的になると思う。途中で変更できないなら全く意味がないと思う。</p> <p>毎月テストがあって、どの教科も中途半端にしか勉強できない。単位取ればいいや…みたいになってしまう。</p> <p>GWなどの休みで図書館が開いていない時期の後に試験が来るのが困る。</p> <p>クォーター制は履修が組みにくい。非常に。そのため、大学は自分の学びたい科目を学ぶ場所であるのに、それがしにくい状況であるのはいかがでしょうかと思います。</p> <p>クォーターにはこうこうこういうメリットがあるのかあ→採用、CAPには…TAPには… と出た意見や流行っているものを皆々ぜんぶ盲目的に導入したような諸制度は互いのメリットを潰し合っている。ひとつひとつが学生の負担となる制度になりはてている。「うちの大学はこれをやっている、これをやっている」と、個々には聞こえはいいのかもしれませんが…。</p>	
島野	2	AB	流れ学(1)	<p>非常にわかりやすい授業内容でとても理解が深まったと思います。スライド、配布資料もとても理解しやすかったです。</p> <p>細かい所まで説明するので、とても分かりやすかったです。</p>	
島野	2	CD	流れ学(1)	<p>プリントに印刷されたスライドが小さくて書き込みづらい</p> <p>どこが穴埋めになっているかわかりやすくしてほしい。（スライドから目をはなしているときに新しくこうしんされても見落とすことがあるので）</p> <p>ペースがゆっくりだったので、レイノルズ数までやってもよかったと思う</p> <p>授業内容が非常にわかり易くてプロジェクターの使用方法を理解するのに適切だった。</p> <p>映像を利用したり、流れを可視化していたりと工夫されていてわかりやすい授業だった。</p>	<p>自分でノート等を用意する気はないのですか？与えられたものだけで済まそうとして自分では努力をしないというのなら、かえて受講者を甘やかすことになるのでプリント配布は止めじます。</p> <p>集中して見ればわかるはずですよ。これくらいは自分で努力すべきです。</p> <p>もっともな意見です。しかし、機械システムの専門教育を初めて受ける2年前期なのであえて歩みをゆっくりにしています。確実に全員にマスターしてもらわないといけないからです。</p>
島野	2		微分方程式論	<p>出席点が欲しいと思った。</p> <p>説明が分かりづらい+長い。授業中暇でした。 中間カンタンでした。</p> <p>同じ話を何度も聞いた。授業を早く進めてほしいと思うことが多々あった。</p>	<p>出席することと学ぶということは全く別物です。出席で点をつけることは禁じられています。</p> <p>皆が自分と同じではないことを理解しましょう。重要な点を何度も何度も説明されてはじめて理解できる人もいます。</p>

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
				重要な点を強調していた点が良かった。	
				わかりやすく良かった	
				とても分かりやすかった	
				授業に参考となるような演習書などを指定して欲しい。	参考書等については第1回目の授業で説明した通りです。自分でページを開いてみて自分の好みに合ったものを選んだ方が圧倒的に効果的です。
				黒板前のスクリーンは大きく、字がよく見えるが、311教室の中段に設けられている画面だとe^tとかのtが小さすぎてほぼ見えない。グラフを書くときの表に書いてある数値も同様。	「添え字を使う都合上どうしてもフォントサイズが小さくなるので見えづらい場合がある。そういうときはその場で申し出るように。後になってアンケートなどに書かれても対処のしようがなく無駄になる」と第1回目の授業で説明しました。授業をしっかりと聴いてください。
				もう少しノートを取る時間を取ってほしい。	ノートを取る時間が短いと文句を言う人はノートの取り方を改善すべきです。スクリーンに出ている情報をすべて写そうとするから時間が足りないのです。
				当初、スライドをうつす時間はよゆうをもってくれると言っていたが、どんんはやくなる始末。しまいには、話しているとちゅうにうつしていたからと怒り出す神経がわからない。習ったことのどこが大事なのか不明。	スクリーンに出ている情報には大きく分けて2種類あります。核となる重要情報とその場の理解を助けるための"使い捨て"情報です。ノートには前者の重要情報だけを書けばよいのに、"使い捨て"情報まで全部写し取ろうとしている人が「時間が足りない」と文句を言うのです。何が重要な情報で何が"使い捨て"情報なのか区別することができていないからでしょう。ではなぜ区別できないのか？それは講義をしっかりと聴いていないからです。話を真剣に聴いていれば何が"使い捨て"情報なのか文脈からわかるはずですよ。 たとえば、計算の途中経過は式変形の流れをその場で理解するために必要なものでスクリーンに映し出すようにしています。とはいうものの、核となる重要な式さえあれば、そのような途中経過は家に帰ってから自分で簡単に導出できるものなのでノートに写す必然性が極めて低い"使い捨て"情報です。後で自分で導出できるものなのに、わざわざ限られた授業時間を消費してノートに写すのは壮大な無駄になります。だから「書き写すことだけに集中するのはやめなさい、話を聴きながらノートを取りなさい、またはまず話を聴きそれからノートを取りなさい」と注意したのです。説明をよく聞いて理解した上でノートを取れば情報の取捨選択ができて、書くべき情報量が圧倒的に減り、労力も削減できるからです。 それを「話しているとちゅうにうつしていたからと怒り出す」などと受け取っている人がいるのには驚きました。これこそ人の話を聴いていない何よりもの証です。改めるべきです。 なお、「授業時間中に何もかも全部書き写しておけば後で復習などしないで済む」という考えは問題外です。
				授業中ノートをとる時間をとると言っていたがスライドを進めるのが早いと思った。スライドをwebclassなどでアップしていただければもっと話にも集中できた。	上に書いた通りです。 なお、スライド事前配布をやるつもりはありません。授業時間内に手を動かすという能動的作業は絶対に必要です。ただ式を眺めたり話を聞いたりするという受け身的行動だけでは理解度が落ち、何が重要かを気づく可能性が低くなるというのは脳科学の教えるところから明らかだからです。
				ウェブクラスで授業で扱った例題の解説くらいのをほしい。	解法は説明しているのだから自力でできるはずですよ。そもそもエンジニアの仕事では答えが他人から与えられることなどありません。ゆえに何でもすべて答えを与える塾のようなことはしません。高等教育を受けているという自覚をもってください。
				むなだ話が多いのでやめてほしいです。	授業内容に関係すること、授業の受け方や勉強の仕方に関係すること以外話をしていません。すべて学生諸君の受講が充実したものになるように願って話していますが、それに関係ないと言うのは小中学生の塾のように教科のお勉強だけをやってほしいということですか？そうだとしたら大学の本質を理解せずに言っている意見です。

2016年度前期 授業改善アンケート

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
				教室がむしあつかった。 教室がいつも暑かったので適度に空調を調節してほしい	311のような階段教室の上の方が熱くなるのは当たり前で防ぎようがありません。下の方と比べるとかなり大きな温度差になります。冷房は下の方を積極的に冷やすので上の方の人に合わせて空調をセットしたら下にいる人が凍えます。そしその割には上の方の人は涼しくならず、エネルギーだけが大量に消費されます。つまり教室内すべての人に合わせた空調は不可能なので、各自衣服等で調節する、下の方の席に座る等の努力をしてください。
				クォーター制のせいで体調がわるくなると授業についていけなくなる。 週2日は追いつかない。他の科目もあり理解にもとぼしくなる。クォーター制には強く反対。 性格がしつこいです。	エンジニアに対する最大の賛辞をありがとう。物事をとことん突き詰めていき、あまいさを絶対許さないという態度で日々生きています。そうでなければ科学技術を業にはできないからです。貴君たちも是非そうになってください。
渡邊	1	AB	技術日本語 表現技法	質問対応をしっかりして欲しい WebClassの質問に答えて欲しい。 課題提出締切がすぐで本当に大変でした。クォーター制は止めた方がよい（多数）。 この授業をクォーター制にするのは良くないと思った。 クォーター制のためレポートを書く時間が短くて大変だった。 他の科目との兼ね合いで徹夜を何度かした。クォーター制はやめて欲しい。 TAの態度が悪い PowerPointの使い方をもっと詳しく教えて欲しい レポートの書き方やグラフ作成の仕方を実践的に学ぶことができた。 後期に開講した方が良かった。	授業内の質問は答えているつもりです。WebClass経由の質問は一部回答できなかったものもあります。 課題提出期限については近すぎる回もありましたので、次年度は改善したいと思います。 何がどう悪いのか具体的なことが分からないので回答のしようがありません。TAにも厳しく指導するように言っていますので、それをもって態度が悪いと勘違いしているのならば考えを改めて下さい。 アプリケーションソフトの使用方法については授業内で説明する時間が少ないので自学自習を指示しました。 良かったと思います。 第1クォーターの工学リテラシーに連続することで効果があると思い第2クォーターにしましたが、開講時期については検討します。
渡邊	2		ベクトル 解析学	授業進度が速すぎた。 板書が分かりづらかった。 板書かスライドかどちらかにした方がよい。 試験をノート持ち込みにするなら、板書だけでもよいのでは。 教室が狭い。 中間テストを早く返して欲しかった。 パワポの資料を配付して欲しかった。 課題が多い。	特に後半は説明する内容が多く時間がかかってしまい、その分説明を急ぐ場面があったかと思います。 教科書もあり、スライドも表示しており、板書は説明用の補助として使いました。中途半端な箇所もあったかと思えます。 受講生にしては狭いかもかもしれませんが、全員を見渡せる教室が良いと思って現在の教室にしてもらっています。全員が座れるので狭くはないと思いますが、 結局期末試験後になってしまったのは反省しております。 この意見は出ると思いました。今年度は資料配付がなくても定期試験の成績は昨年度と同程度の出来具合でした。教科書による予習復習と講義時間中のノートで十分対応出来るはずで、まとめのスライドなどは自分で作った方が学習効果が上がります。 クォーター制採用に際し、課題・宿題量は昨年度と同等としましたが、昨年と比較して宿題提出が悪くなるような

2016年度前期 授業改善アンケート

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
				クォーター制にしては宿題が多い、 予習復習が間に合わない、 週2回の授業は厳しい、 分かりやすく良かった、 課題の量が丁度良かった、 予習テストがあるため内容が分かりやすくなりました、 宿題の難易度が復習に丁度良く理解が深まった、 分かりやすいスライドだった、 教科書を読んで授業の説明を聞けばよく分かった、	傾向は見られませんでした、 良かったと思います、
三宅	2	AB	電気回路 及び演習	学生のことを良く理解して授業を進めてくれている。 わかりやすかった。 授業の開始が遅れることがあった。30分授業が開始されないことがあった。	今後も授業内容を分かり易いものに改善していきます。 今年は、大学院の授業と当該授業の配置時間が二転三転するという事態があり、授業開始時期は私も混乱し、授業時間を間違っしまい、遅れてしまったことがありました。今後は時間割配置を含めてこの様なことがない様注意をしていきます。
大谷	3		強度解析学	クォーター制をやめてほしい（10名／履修者16名） 理由：復習（予習）が追い付かない 授業の進度は早くなりヤル気がなくなる 半期ごとの授業のやり方が何故よくないのが理解できない 話が聞きやすかった（1名） 明快な授業でよかった（1名）	
熊谷	1	AB	機械工作 概論	パワーポイントをめくるスピードが早すぎて先生の話聞いて理解する暇がなく書き写すという作業におわれつづけた。 パワーポイントを公開してほしかった。 最後の授業でもよいのでパワーポイントをもう一度見たかった。 パワポで授業するのは良いが、パワポをすぐ変えてしまったりするのでノートがほぼとれない。かといって教科書にない内容もやるので調べられない。 スライドをweb classとかで公開してほしかった。 スライドの切り替えが早すぎる。 パワーポイントを公開するか、授業中にメモできるスピードにしてほしい。 スライドを変えるペースがはやい気がした。 メモしづらかった。 授業中に使用したパワーポイントを公開して欲しかった。 パワーポイントを公開してほしかった。 出したレポートの内容があっているのが分からなくて不案だった。	講義の冒頭（講義の進め方）で説明しましたが、講義を聞き何が重要であるかを判断し、うまくメモを取ることが大切です。また、講義だけでその内容を完全に理解することはできませんから、講義内容をきっかけとして、勉強をしてもらえればと考えています。一生懸命メモを取ろうとしていたことは結構なことですが、ポイントを絞ってメモを取ることも意識してください。特に、この講義は“概論”という講義の特性上、あの様なスライドの送りになります。 また、パワーポイントを使うことは紹介できる情報量が増えるというメリットがあり、現在では多くの講義やプレゼンなどで使用されています。したがって、以降の講義や社会に出た後も同様のシチュエーションが多くあることが想定されますから、それに慣れ、うまく対処する術を身につけることも必要かと思えます。 十分ではなかったかもしれませんが、それなりに間を取っていたことはご理解ください。また、その様な意見があることは理解しましたので、今後の講義に生かさせていただきます。 パワーポイントを講義前後に配布することについては、配布ををあてにして講義での集中力が低下するというデメリットがあるため、本講義では配布しないことにしています。その点は講義の特性や教員の考えたかによるところと思えます。 レポートの書き方については講義の冒頭や最後にコメントをしていたと思います。きちんと聞いてもらえば、有用

2016年度前期 授業改善アンケート

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント (原文のまま)	担当教員の回答
				レポートの見本がほしい	<p>な情報が得られたと思います。また、個別の案件については質問などをするという方法もあります。実際にその様な形で助言をしたこともあります。</p> <p>レポートの見本については否定的に考えています。また、提出されたレポートがあっているのか不安であったとの意見もありますが、例えば「XXXについて調べてまとめる」というレポートについて正解/不正解というものはありませんし、人によって内容・表現が異なるのが当然です。そのため模範解答な様なものを示し、その通り書けば“正解”という考えを改めてほしい(そういうことを知って/理解してほしい)と考えています。もちろん、指示されたこと(どの様なレポート用紙に書くか、どの程度書くか、提出方法 etc)については正確に把握し守る必要があります。不明な点があれば質問をしてください。</p> <p>レポートの返却については次年度以降の参考にさせていただきます。</p>
				レポートを採点してもらって修正部分を指摘してもらいたいです。	
				レポートの授業をまとめる際、こんなところに注意とかがさりげなく欲しかった。	
				レポートをかえしてほしい。	
				出したレポートはテスト前に返してほしい。	
				最初宿題のレポートはかえされるものだったのうつつしをとっていませんでした。できれば最初にレポートはかえさないと書いておいてもしかったです。	
				無駄な話が多い。	
				教科書に載っていない内容の授業がある。	
				教科書とスライドの内容が違っているので、勉強しにくかった。	
				パワーポイントで、教科書に書いていないことをメモすればいいとおっしゃっていましたが、教科書を使わないので書いてあるか書いてないかわからなかったので教科書のページとかも言ってほしかった。	
				他の同じ授業をしている所と内容を合わせて欲しい。	<p>確かに教科書に載っていると当初言いました。当初は教科書の図などをプロジェクターで映して講義をするつもりでしたが、教科書の図が白黒や不鮮明で見にくく理解しにくいと考え、他の図などを使いました。その点は申し訳なかったです。</p>
				A B, C Dで単位を取る難しさに差があるのではないかな?	
				C D組との差が大きすぎる(テストの内容、宿題の量、授業スピード、テストのヒント)	
				テストがC D組となぜ違うのか…。	
				期末テストについてなのですが、C, Dクラスはノート持ち込みが可能であるのに対しこちらはありませんでした。評価の仕方は同じなのですか?	
				さらにこちらはプレゼンもあって授業のスピードもはやかったので明らかに不利ではないですか?	
				C D組との授業の差。	
				なぜA B組とC D組でテスト参照条件が違うのか。	
				A, B組とC, D組で、テストの形式が大きく違っていました。出来るだけやめさせてほしいです。	
				隣のクラスとテストの条件が大分違うので公平性を重視してほしい。	
				シラバスでは平常点50%テスト50%だったが、いきなり発表をすることが決定して、その発表の授業は、ふだんの授業よりも点数が高くつくはずだから、それ以前の授業点の配分を下げられた気分。それがゆるされてよいのか。	<p>発表を追加した経緯は講義で説明した通りです。発表実施については準備期間をもうけていますので十分対応可能であったと考えています。</p> <p>シラバスに記載がなかった点はこちらの落ち度です。来年度以降は反映させます。</p> <p>なお、発表を実施したことにより学生の単位認定に不利益が生じる扱いはしていません。</p>
				いきなりの発表。	
				グループでの発表がいきなりでシラバスにもかいてなくてビックリ!	

2016年度前期 授業改善アンケート

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答	
				気まぐれで色々取り入れられてもこまる。		
				全体的にゆうづきかせてほしい。		
				発表をやるならシラバスに書いてほしかったです。		
				発表にかんしても先生が考えてたことがうまく自分達に伝わってなかったと思います。自分たちは加工法が使われていればいいのかと思って最初は楽器について調べようとしていました。		
				「ここテストでよ」みたいなことをさりげなく言ってみてほしい。		できません。
				テストがむずかしかった。		特別難しい問題を出しているつもりはありません。
				授業内容が難しかった。		難しいことはやっていません。
				また、テスト範囲があいまいで、どこを重心に勉強すれば良いか分からなかった。		特段の理由がない限り講義の範囲が出題範囲であることが一般的であると思います。
				昨年とちがい、レポート提出、また授業内で、動画も使われ、理解によかったと思う。		それはよかったです。
				動画を用いた説明は分かりやすかった。		
				プロジェクターを使用していてわかりやすかった。		
				今まで聞けなかった話などがあってよかった。		
				詳しい話をもっと聞きたかった。		
				学んだ加工法が実際にはどのような製品にどのような方法を使って作られているかがわかったのでよかった。		
				企業の話が面白かった。		
				動画があってすごく分かりやすかった。		
				授業の途中で先生の体験談や、実際に会社ではこのようにしているなどの話があって内容に興味が持てました。		
				具体例を挙げて説明して下さったから、おもしろくて、理解しやすい授業でした。		
				先生の本を出して下さい。		
				しっかりレポートを書いといてよかった。		引き続き勉学に励んでください。
				毎回の課題が復習にもなり、よかった。		
				夏休み頑張ってニューロン増やしていきます！！		
				クォーター制をやめてほしい。		
上の○（横楕円）は○（縦楕円）の方がマークしやすい。						
熊谷	1	CD	工学 リテラシー	PBLの方で、具体例などを見せてもらいたかった。 プレゼンの課題はもう少し具体的で現実的に可能なものにしてほしかった。	PBLでは自分の頭で考えること、必要なことを自ら調べることなど、主体的な取り組みをする（またはその様な力を養う）ことを目的としています。そのため、例を示したり、答え（の一つ）がインターネットで検索したら出てきてしまう課題とすることを避けています。	

2016年度前期 授業改善アンケート

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
				PBLは、図書館でもやってほしかった。それかパソコンのある教室。	PBLでの調査やグループワークは主に講義時間外に行うことを想定しています。講義時間内のグループワークの時間は補助的な時間でありそれを踏まえた活動をしてもらいたかったです。また教室へのパソコンの持ち込み使用などは特に制限をしていません。
				班での活動は今後に活かしたいと思いました。なので、単位を頂ければと思います。補足ですが、期末テストはかなり自信があるので、「秀」だとうれしそうです。	秀だといいですね。
				PBLのグループワークを通して、プレゼンの練習をすることができた。この経験は今後、役立つと思った。	それはよかったです。
				グループ学習では期間が短くなかなか難しかったですが、有意義な時間でした。	
				PBLの発表が短かったのでもっとかしてほしかった。	確かにもう少し時間が欲しいところですが、講義の時間内で行う必要があり、難しいです。一方で、発表を聞いていると発表の密度を上げる余地は十分あるように感じました。限られた時間の中でいかに伝えるかという能力はとても大切です。そういった点も今後意識してもらえればと思います。
				宿題は採点した後、返してもらえるとテストに向けて分かっていないところの改善がしやすかったと思います。	確かにそうかもしれません。今後検討します。
				小テストの問題を返してほしい	
				初めて扱う片対数グラフや両対数グラフの説明が10分くらいしかなく、なかなか理解するのが大変だった。	十分であったかどうかは人によるところがあると思いますが、演習時間などもあり、その中で学ぶ事は十分可能であったと思いますが、時間配分は検討の余地があると思っています。次年度以降に反映させます。
				説明が少ない	一方、（今後のためにも）大学の講義は自学自習時間を含めて構成されているということ、自ら学ぶということが肝要であることを理解しておいてください。解説のプリントも配布していますし、対数自体は高校で既に習っていることですから、解説時間が短くても自身の取組み次第で十分理解できるものと思います。もし、理解するのが大変だったが、自学自習によって理解できたのであれば、まさにそれを体現したということであり、結構なことです。
				両対数、片対数グラフのところの説明が瞬速で、まるでわからなかった。	
				両対数・片対数の小テストができなかったのは、先生の余談が長すぎたためである。	
				プリントの内容が説明不足だと感じた。	
				プリントの答えを全て配ってほしい	解答を示しているので十分であると思います。
				テスト対策が不十分になってしまう	
				発表課題をすることによって、自分がいかに基本的な事を知らない気付けた。	今後の学びに生かしてもらえればと思います。
				数式の話をする際は黒板を使って説明した方が良いのではないかと。少々理解に苦しんだ点があったので。	必要に応じて使い分けているつもりです。グラフなど見やすくするためにパワーポイントも使用しています。見にくい点などは具体的に提案してもらえれば、可能な範囲で改善します。
				プロジェクターが微妙に見づらかった。	
				先生の教え方は、ていねいで分かりやすかった。なので講義に不満なし。	それはよかったです。
				先生の言葉は理解しやすかったため、この授業を通じて自分がどう変わるかがポイントだと思う	
				これから使いそうな技術を身につけてるように感じる授業だった。	
				質問に誠意をもって対処していただいた。	
				雑談がためになりました。	

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
				三角関数の合成のグラフの解説がとても詳しくて良かった。	
				普段受験であまり使わなかったところを、触れていたの良トレーニングになりました。	
				声がとても聞きやすかった。	
				クォーター制を廃止してほしい。	それは一教員にはどうすることもできません。別のチャンネルで主張してください。
				授業がクォーター制のせいなのか忙しかった。(プリントに書いてあるけどやらなかった部分が少しあった)	プリントにはおまけの内容(不要という訳ではない)も含まれているので、すべてを過不足なく行うという訳ではありません(他の講義で教科書の内容を全て行う訳ではない、教科書以外のことをやらない訳ではないのと同じです)。また、そういった内容に自身で取り組んでみるといった姿勢が大学では求められます。ぜひ、そう考え・行動できるようになっていってください。
渡邊・ 三宅・ 佐藤・ 熊谷・ 永野	2		機械システム 基礎実験	今まで手書きのレポートばかりやっていたので、Word文書でのレポートの書き方が分かったのは良かった。	どちらでも良いレポートを作成することが可能ですが、今後はWordを利用した実験レポートの作成が多くなります。習得した技術を有効利用してください。
				手書きとパソコンでのレポートの書き方を知ることができてよかった。	
				大まかなレポート作成の流れを学ぶことができた。	実験レポートを作成すること、また、まとめた実験結果をしっかりと考察することなどを習得できたということは、本科目の重要な達成目標の一つでしたので、大変良いことであると思います。
				レポートの書き方を改めて学ぶこともできたのでよかった。	
				良い点：考察の正しい書き方(?)を教えてくださった。	
				工学部の学生として必要となるスキルや知識も学べ、何よりも良いレポートの書き方を学ぶことができて、とても身のためになったと思う。	
				レポートにまとめるということは将来必要になる技術なので練習できて良かった。	
				物理学実験では学ぶことのできなかった本格的なレポートの書き方の基礎を学ぶことができたと感じました。また、今まであいまいであった考察の方法についても理解し、実践することができたと思います。特に、実験2の熱力学の実験では、レポートの細かい部分までを指導いただき、分かりやすく今後に生かせる書き方を教わることができました。	
				レポート返却の時に、より詳しい改善点を示してくれたのが良かった。	
				レポート返却の際に改善点を丁寧に教えていただいたことが良かったです。	
				言葉の選択がレポートを分かりづらくしている部分にチェックが入っている採点が複数あり、後半のレポートに早速生かせるアドバイスが盛り込まれていたことで、レポートを書く力を向上できる授業であることを実感した。	
				レポートの書き方や実験の説明などがとても分かりやすかった。	
				実験レポートというものを初めて本格的に書いたので大変だった。	
				資料や参考書だけで理解するのではなく、実験をすることで理解することは、資料などでは分からない発見があり良いと思いました。	理論を座学で覚えるだけではなく、体験を通して実践することまでを行うことが大変重要です。それを実感できたことは大変良いことですね。今後の実験実習科目をすべて履修し、その内容を習得してください。より理解が深まるものと思います。
				実験を通して起きる現象への見方が変わったように思う。	

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
				解説と実験を行うことで、効率的に学習を進めることができました。	一つの実験テーマについて事前解説と本実験をセットに学ぶ形式が、理解を高める上で効果的であったということですね。担当教員にとっても喜ばしいことです。理解した内容を次の応用実験へ活用してください。
			解説の次の週に実験という流れが内容を理解しやすかったので良かった。		
			解説授業のおかげで、実験の方法や目的などを理解した状態で実験をすることができた。		
			分かりやすく装置の使い方を教えてくださったので、詰まることなく実験ができた。	それは何よりです。よりよいレポートを書けるようになるため、引き続きがんばってください。	
			次の応用実験へ向けてちゃんと基礎が学べた。		
			永野先生のレポートへのコメントなどがとても丁寧で分かりやすくありがたかった。		
			実験テーマ3のレポート解説は分かりやすかった。	3D CADを利用したCNCフライスの加工実験は新しい実験テーマであり、まだ改善の余地が多いと考えていますが、興味を持って楽しく取り組めたのであればうれしいですね。次年度はより興味が湧くものになるよう内容を向上していきたいと思います。クリエイティブセンターは、本学科の学生が優先して利用可能な施設ですので遠慮せずに利用し、自分自身でさまざまな部品を製作するなど、学習した内容をどんどん実践してみてください。	
			実験5のNCフライスを使った実験は自分で行う工程が多く大変だったが、興味深く勉強になりました。		
			NC工作機械を始め、使ったことのない機器を操作できたのは良い経験となったと思う。		
			良く理解していなかったCNCについての説明が分かりやすくて良かったです。		
			CADについて早く学ぶことができてよかった。		
			CADなどの扱い方も学べて勉強になった。		
			少しではあったが、3D CADなどを用いた実験が追加され、非常に満足した。		
			NC工作の実験で班員を2組に分け、それぞれ異なる書体で書かせ、書体による違いを調べさせる課題などもあって良かったと思う。		
			去年よりレポートの採点が緩くなった気がした。		基本的な部分は変更していないため、気のせいでしょう。
			自学自習の時や実験後の7/18の授業日の連絡がなく、授業があるかどうかで不安になりました。		授業日程の連絡や返却日の指示については確実に実施できるように改善していきます。合否結果についても善処したいと思います。
			レポートの返却のメールが来ないのでとても不安。		
			レポート返却は提出日の次の週に固定してほしい。		
			レポート返却は次の実験の説明の週にしてほしいです。		
			返却が遅かったりしたのでもう少しだけ早くしてほしい。		
			実験によってレポートの合否結果の発表がいつあるのかが決められていないものがあるので、期日を決めてほしい。		
			早く終了する実験は、解説と実験を同じ日に実施すれば良かったと思った。	早く終わってしまう実験については、内容をより充実させていくことが重要であると考えていますので、日程は変更しない予定です。	
			再提出の回数を増やしてください。	最終的には実験テーマ担当教員ごとの判断になりますが、再提出をせずに実験レポートを作成できるようにすることを基本に指導していますので、減ることはあっても増えることはないでしょう。	

2016年度前期 授業改善アンケート

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
				実験レポートの直しの考察で、考察している内容が違うので再提出というのはどういうことなのでしょうか。書いている内容が非合理的かつ主観性があるのなら分かります。正確な考察で見つけて書いてくるのが目的ではないと思います。実験の考察課題でも正解を見つけてきてくださいとは書いてありませんでした。唯一そこが疑問でした。	考察している視点が違っていることと、正解を見つけてくることは、当然、同意ではありません。自分自身が記載した内容が、合理的で客観的なものであるという自信があるのなら、アンケートに書くような無駄なことをせずに、担当教員と議論し、なぜ考察が不十分であるのかを納得して理解をすることが大切でしょう。このような対応を取っていることの方がよほど理解できません。疑問は残さずに解決してください。
				グラフをPC上で描く方法を習得させて、グラフだけでもプリントアウトOKした方が良いと思う。	実験実習科目において、コンピュータを利用した実験データの取得方法を学ぶことを進める予定ですので、改善されるものと思います。
				やむを得ない理由があった場合に提出様式（ワープロか手書きか）の変更の許可をいただきたかった。「原則手書き」や「ワープロと手書きの両方」など手書きのレポートを作成できない場合どうしようもない。	「やむを得ない理由」がどのようなものかによるでしょうが、文章を読む限り、変更を許可しなければならない理由が見当たらないため、考慮は不要と判断します。何か疑問があれば、その時点で担当教員に質問してください。
				手書きの方が書くときに修正が効かず大変だった。	たしかにそうですね。しかし、間違っって修正が必要なことから仕方がないでしょう。頑張ってください。
				レポートの書き方などについて事前にもう少し詳しく教えてほしい。	何をもう少し詳しく教えてほしかったのでしょうか。ほとんどの学生は現在の指導内容で理解できているため、個別に質問すべきです。
				有効桁数についての説明をもっと充実させてほしかった。	検討はしますが、多数意見ではないと思います。個別に質問をしてみましょう。
				解説回が十分役立っていないテーマがあったので、もう少し役立つようにしてほしい。	解説内容の何がどのように役立たなかったのかが分かりませんので対応できません。疑問があればその時点で意見を伝えてください。
				授業で学んでいない内容の実験ではなく結果がどのようになるか明確に分かる内容にしてほしかった。	この考え方では「機械システム基礎実験」としての達成目標に届かないのが現状です。座学と並行で進めることは理想ですが、事前解説によって十分補えると判断していますので、理解が不十分と感じた場合はぜひ質問してください。
				改善点：電気の実験でやっているように、それぞれの実験で簡単な予習問題を出していただきたい。	各実験テーマでも必要かを検討した上で判断したいと思います。
				ある先生ではよくまとまって良いといわれた書き方で書くと、別の先生ではこの書き方は良くないといわれたので、同一の授業内であれば意見をまとめてほしいと感じた。	「前回はこれでいいと言われた」、「XX先生はこれでいいと言われた」という言葉を耳にすることがよくありますが、教員が良かったポイントとダメと言っているポイントがずれていることがよくあります。何がポイントか？本質か？ということを理解するように努めることも重要ではないかと思います。もちろん、どちらのやり方も可であり、人により判断が分かれる場合もあるかと思いますが、その場合は様々なケースを学んでいると考えるのが良いのではないかと思います。無理やり統一することはある特定の手法しか知らないことになり、学生にとって利益にならないと思います。
				ダメ出しなどは全体でなく、個別で言う方が良くと思います。	状況により異なるとは思いますが、他の学生にとっても学ぶべきことがあると考え全体で説明をしています。「このアドバイスは自分には関係ない」として聞くのではなく、自身がどう生かすかという姿勢で聞くことが大切ではないかと思います。
				テーマ4はdocxではなく、pdfで提出できるようにしてほしい。レイアウトが崩れるので。	適切な書式・方法で記載・作成していれば基本的に書式はくずれません。そのためにもWordでの作成方法を示した資料を配布しています。また、PDFではその作成方法が確認できない、コメントがしにくいなどの問題がありPDFでの提出は考えていません。個人的な文書などはどの形式で作成しても構いませんが、公的な書類はデファクトスタンダードであるWordで作成する必要がありますから、ツールとして使いこなせるようになってください。

2016年度前期 授業改善アンケート

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
				実験テーマ4で実験装置に不具合があった。しっかりと調整してほしい。実験テーマ2、4のレポートの解説をもう少し詳しく行ってほしい。	不具合は直します。 レポートの解説では必要な事項は伝えています。不明な点があれば質問をしてください。
				熊谷先生のレポートに対するコメントが雑すぎて理解しづらい。	一般的に理解できる程度にコメントしているつもりです。理解できないのであれば質問をしてください。また、Aは間違いでBが正解と言った答えを教えることにならないように、例えば間違いがある所を示すのみにするなどしています。これは答えを知ることよりも、答えを考えるプロセスが重要であると考えているからです。
				熊谷先生がうるさいです。特にとりで解説を受けているのに大声で説教されていて解説がまったく聞こえませんでした。	気をつけます。ただし、同じ部屋で複数のテーマの実験をしているため、声が重なり聞きにくくなる状況はご理解ください。
				熊谷うるさい。他の実験班の邪魔！！	気をつけます。ただし、同じ部屋で複数のテーマの実験をしているため、声が重なり聞きにくくなる状況はご理解ください。
				K先生がひどい！！	何がひどいのか分かりません。
				熊谷先生の実験はTAと先生の言っていることに相違があり、戸惑うことが多かった。	改善します。
				TAの説明の時の話す速さが速く、聞き取りにくかった。	その場で「もう少しゆっくり話してください」などとお願すれば解決したのではないのでしょうか。
				TAの言っていることがたまに間違っていて困った。	改善の努力をします。
				TAで不真面目な方がいて迷惑！	
				TAに丸投げってどうなのでしょう？（解説とか実験とか）	丸投げということは無いと思います。
				解説を受けられない班もいたらしく、かわいそうだった。	講義は所定の教室で行われますから、その時刻・その場所へ行かなければ講義を受けられないのは当然です。一般的に自身の過失による責任は本人にあり、その結果被る不利益は本人の責任です。その様なことは本来大学生であれば有しているべき資質であると思いますが、それが備わっていないということは今後の修学にも影響があると考え、その点についての指導を行いました。話を見聞きした学生はその様な経緯を承知していないものと思いますが、「教室を間違えただけ」という安易な考えを持っているのであれば、改めた方がいいと思います。
			そして、教室を間違えただけで授業しないのはどうかと思いました。		
			解説をしない先生がいたらしく、とてもかわいそう・・・状況を見た限りあれはいじめだ！！		
			教師という立場を悪用している先生がいたらしく。解説をしない先生がいたらしく。来年受ける学生がかわいそうです。		
				カリキュラム全体の改善。カリキュラムに沿って行われていない。特に、電気（三宅先生）の実験は潤滑にレポート返却が行われていない。電気基礎実験があるからいらなくと思う。	基礎実験内で行う電気の基礎に関する実験は、交流回路の基礎を行うものであり、電気基礎実験の内容とは全く異なります。また、電気回路及び演習の授業内容である交流回路の理解を目指して相乗効果を考えて行っております。よって、電気基礎実験があるから本実験をやらなくて良いことにはなりません。また、電気回路の座学だけでは、貴君らの成績から電気回路に対する理解が及ばないと判断をし、実施していることを理解するように。
				電気実験のレポート返却が遅い。	確かに今年は返却が遅れました。その点は来年度以降に改善をしていきます。しかしながら、今年のカリキュラムではテスト期間内に返却をせざるを得ない班のレポートもありました。その点は理解をしてください。
				電気のレポートの返却を早くしてほしいです。	
				電気回路実験のレポート返却が期末テスト期間とかぶったのがつらい。	
				電気回路のレポートについて再提出が夏休みに食い込むなら、連絡か最初に通知があった方がいいと思う。	
				電気回路のレポートをもう少し早く返してほしい。	
				実験1のレポート返却がテスト期間なのは良くないと思いました。	
				実験テーマ1のレポートがまだ返ってきていないが、もう少し早く返してもらえると良いと思う。	

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
				先生方が忙しいのは分かるが、さすがに三宅先生のレポート返却が遅すぎると思うし、実験を行った順にすら返ってこない上に、テスト週間に返却を当ててくるのはさすがにどうかと思う。遅れるなら遅れるなりのメールすらも来なくてびっくりした。	
				実験のレポートが試験期間前に返却されるのは少し困ります。	いくつかの実験テーマで再提出の期間が、試験や夏休みの始めにかかってしまいました。できる限り、授業期間内に終了するように改善していきます。また、返却時期も翌週までを原則として進めていくように改善していきます。さらに、実験レポートの再提出の回数についても検討したいと思います。評価に値するレベルまでレポートを修正することを指導するためには、現状では多くの時間を費やさなければならない。しかし、このような意見が多く出るようであれば、何度も何度も再提出をすることは認めずに、短期間で実験レポートを完成させることが不可欠であり、最終的には再提出が不要になることを目標としたいと思います。
				レポートとテストを重ねないでほしい。	
				レポート直しを期末テスト直前にまとめて出されるのはつらい。	
				期末試験前にレポート提出はなるべく避けてほしかった。	
				出張が重なってしまったためとは言え、テスト期間にレポートの提出があるのはつらかった。	
				クォーター制により、テスト期間とかぶるのは無理がある。レポートの返却がすべての実験が終わってからの返却だと遅い。	
				この授業は来年から廃止にすべきだと思います。その理由として、テストとかぶり、勉強に集中できないからです。	
				実施日やレポート提出日がずれ、課題や試験とかぶり、学習スケジュール調整に困ることがあった。	
				レポートの返却が遅い実験があり、再提出分と1回目提出分の締め切りがかぶってしまうのではないかと思った。だいたいの返却予定を知りたかった。	
				レポートの再提出とその週の提出レポートが重なってしまうのは大変でした。	
				先生の都合もあるだろうが、実験をして数カ月後にレポート返却があると適切な直しができないと思ったので、できるだけ早く返却していただきたかった。	
				レポートの返却が2カ月以上遅れてしまうと実験内容も忘れてしまうので部分があるので、できるならもう少し早めに返してほしい。	
				夏休みにレポート再提出はシラバス通りではない。	
				レポートの再提出をなるべく夏休み中にしないでほしい。	
				レポートの返却が遅い実験があるので、夏休みまでには見るようにしてほしい。	
				レポートの再提出は前期の授業内で収めてほしい。	
				レポートの返却が遅かった。	
				レポート返却が遅い！！	
				レポート返却が遅い実験がある。早くしてほしい。	
				レポートの返却が遅いので早く返してほしい。	
				レポートの返却を早くしてほしい。	

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答	
				テキスト過ぎます。レポート返却遅すぎです。		
田中・ 今福・ 渡邊・ 三宅・ 佐藤	3		技術者倫理	技術者としての生き方を考えさせられた。	技術者倫理の達成目標である「社会的存在として技術者が持つべき倫理観を考えることにより、将来の技術者としての自己の役割を認識すること」を学ぶことができたのであれば、大変うれしいことです。	
				技術者としてあるべき姿は十分に伝わってきたが、一技術者の無力さも同時に感じた（チャレンジャー号のビデオより）。		
				倫理について技術者の観点で考えることができたのはいい経験になった。		
				技術者の倫理について再確認できて良かったです。		
				普段考えない技術者に対する考え方を学べたので良かった。		
				技術者とは何か、技術者に必要な倫理観についてどの先生も分かりやすい題材を基に講義を行ってくれて良く理解することができた。		
				技術者として取らなければならない行動を考えさせてくれる非常に有意義な授業でした。		
				今まで受けた授業で最も解答を出すのに苦労した授業だった。グループディスカッションで他人の意見をまとめる難しさを感じたが良い経験になったと思う。		
				DVDなどで学べて分かりやすかった。		各自の達成感があったようですね。メールの書き方は情報リテラシーの講義や、本学の情報基盤センターのwebsiteから学ぶことができますので、そちらを参考にしてください。本科目の「目的には適さないため、授業内では扱いません。
				がんばりました。		
				いろいろ考えることがありました。		
				ぜひメールの書き方などを教えていただきたい。		
				おもしろくない。		
				特になし。		
				2、3回で先生がかわるのはいいが、ひとつひとつがもっとよりつながるようなほうがいいのではないかと思います。		建設的な意見、良くなかった点の指摘と受け取りました。担当教員間で議論し、次年度の講義の改善に活用したいと思います。
				組織の中でのジレンマによる行動選択のケーススタディがあと数例あると良いと思う。		
				宿題を出す時は、必要な要件をちゃんとまとめておいてほしい。		
WebClassで行う課題をなるべく早く掲示してほしい。講義が終わってしまってからでは内容を思い出すのに時間がかかる。						
課題を出すならなるべく早く出してほしいです。						
週2になったため課題がづらい。	クォーター制に講義形式が変更されたことから来る問題点と解釈しました。本年度が初めてだったこともあり、課題内容や宿題を取り組む時間配分が悪くなかったことは、担当教員側でも感じていますので、次年度改善したいと思っています。ただ、クォーター制がなくなることはほぼあり得ませんので、皆さんもこの形式に慣れてください。					
週2回授業のため課題が少し多く感じた。						
金曜4限に課題を課され、それを月曜日中に提出というのはとても作業時間が短く感じた。（特にグループワークや図書館のシステムを利用するものなど）						
クォーター制で課題に取り組む時間が少なかった。						

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
				クォーター制なので仕方のないことだとは思いますが、課題の締め切りの間隔が短く大変でした。締め切りを次回講義ではなく、1週間あるとうれしい。	
				クォーター制だったので少し時間的に厳しかった。	
				クォーター制で課題をやる期間が短かったのが大変だった。	
				クォーター制度はやめてほしい。	
				三宅先生の授業が時間がなさ過ぎてパワーポの内容が入ってこない。	1班あたり5分の発表と3分のコメントで発表を行うと予め伝えていましたし、時間が短いことは承知の上で実施する事、また短い時間内でも集中して要点を記録する様に授業内で指示をしていたはずですが、また、この補償措置としてWebClass上で各班の発表資料の公開もしていましたので、授業中に記録し損ねた部分については、その公開ファイルを見て補完する事もできたと思います。社会に出たら、皆さんの記録が終わるまで会議や発表が待ってくれる事はありません。これもトレーニングの一環という事で理解をしてください。
				今福先生の課題の表示されるタイミングが遅いと思う。	前回授業終了後にWeb Classで課題提示してあります。遅くはないでしょう。
				今福先生の課題で印刷物が多すぎたので、もう少し課題の内容を吟味してほしいです。	資料は必要な情報が含まれている物です。初回課題では各自担当は両面印刷で5枚分です。配布ファイルのすべてを印刷する必要はありません。2回目も同様です。
				今福先生の課題は時間とお金に対する得られる知識や能力が少なく、非効率的に思えた。	修得する知識・能力は受講者の資質にも依存します。学ぶ姿勢を学びましょう。
佐藤	1	AB	工学 リテラシー	PBLの発表の準備時間がとても短い上、自分達のオリジナルの提案をしなければならず、毎日夜まで準備に追われ非常に苦労した。しかし、高校までに経験しなかったことを経験し、こたえのよういされていないかだいであるこの授業を終えて、大学生ないしは社会人になるための準備の第1歩を踏み出し、自分自身が成長できたと思った。	皆さんが真剣に取り組んだことによって、大きな達成感が得られたのだと思います。スケジュールや準備時間は少なかつたと思いますが、その中で物事を進めることによってしか得られないものもあります。また、グループワークは非常に重要であると思いますので、今後も続けていきたいと思っています。
				PBLは来年も絶対にするべきだと思う。非常に大変ではあったが、今後絶対生かせると思うので。	
				PBLは少しきつかったけど・・・、経験になった。	
				PBLは短い期間で大変だったが、時間を見つけて集まることや、意見の伝え方やアイデアなど学習できる点が多かったと思う。	
				PBLを前半から始めたのは、班の人とよく話し合うことができたので良かったと思う。	
				この授業のメインだったPBLでは、本発表の際にパワーポイントで失敗をしまい、とても悔しかった。後悔が多く残ってしまったが、また必ず同じようなことをする機会があると思うので、そこで今回の経験を活かしたい。佐藤先生、ありがとうございました。	
				最初はちょっとやりにくいと思っていましたが、今思うと役立つことやこれからの過ごし方など、さまざまなことを教えてもらいました。特にプレゼンについてはもっともっと勉強していこうと思います。ありがとうございました。	

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
				PBLによってグループで発表し終わったときの達成感を感じることができました。先生の教え方そのものはとても分かりやすく、聞き取りやすかったです。	
				すごくやりがいのある授業です。これからもよろしくお願いします。	
				PBLの日程が大変だが、先生のアドバイスがとても分かりやすかった。	
				PBLは今後の学習につながる良い授業だったと思う。だが、先生によってノルマが違ったりするのは改善してほしい。	
				PBLとして、授業の中であって、今まで一つのことについて、グループで考えたことがなかったので良かったが、ハードなスケジュールで前前期の入ってすぐにやるのではなく、前後期の少し余裕ができたときにやりたかった。	
				PBLのテーマが入学直後にしては難しかった。	
				シラバスでは前半後半でPBLと講義に分かれていた。	
				クォーター制によってなのか、PBLの時間が短かった。	
				PBLの時間をもっと増やして、生徒に時間を与えた方がいいと思う。	
				授業時間数と授業内容を照らし合わせて、PBLとの兼ね合いを確実に取るべきでは？	
				PBLの中間発表までの期間をもっと長くして、中間～本発表の期間を短くした方が良いと思いました。中間が終わると気が抜けてしまうので、短期間の方が集中できると思います。	
				もっと発表内容を練る時間が欲しかった。	
				補講しなくても済むようにもう少し授業を速く進めてほしい。	
				これからどんなことをしていくのかというビジョンのできる授業だった。こういう授業がよりあると良いと思った。	
				大学にはどのようなことができなくてはいけないなどの話はとても良かったです。	
				これまでしてきた勉強は高校に受かるため、大学に受かるためのものだと思っていましたが、この講義でこれから使っていくものだと実感できて良かったです。	
				授業で習っていることが工学でどのように使われているかの説明があって、とても意欲が湧きました。	
				授業は分かりやすくて内容が身に付きやすかったが、授業に関係する内容のメールが急な内容が多かった気がした。	
				欲を言うなら、連絡事項など（特に提出物の返却など）がもう少し早かったら良かったなと思いました。でも、私はこの工学リテラシーの授業を佐藤先生に教えてもらえて良かったです。	

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
				できれば、もう少し早く連絡事項を回して欲しいです。課題など重要事項は締め切りが近くで回ってくるのは困りました。	
				多忙なのは理解しているが、課題、連絡はできる限り早くしていただきたい。	
				クォーター制の影響なのかは分からないが、少し授業スピードが速く感じた。	
				クォーター制により少しせかせかしていたので、適切な制度なのかなと思った。	
				授業時間を増やして、テキストの説明をしていないものまで授業してほしい。	
				補講しなくても済むようにもう少し授業を速く進めてほしい。	
				両対数グラフや片対数グラフなど今後使うので重要なことは学生に合わせて進めてくださったので理解しやすかったです。	
				グラフを描くスピードがかなり上がった。	
				グラフ作成のときに丁寧な説明があって良かったです。	
				グラフの描き方など丁寧に指導して分かりやすかった。	
				グラフの書き方が分からなかったときに丁寧に教えていただいたので質問しやすかったです。課題もこなせる量でちょうど良かったです。	
				言い方はキツイけど言ってることは正しい良い先生でした。	
				授業の内容も詳しいし、配付資料も理解できるし、一番いい先生だと思います。	
				皆も言っていたが、授業が上手。Senseとしては優秀だと思う。たまに言い方がイラッとくる。これが初回あたりの印象になってしまっていて好感度が下がった状態で始まっていたと思う。逆にこれがプレッシャーがかかって効果的に働いてPBLに対する取り組みに力が入った。ただ、皆怖がって質問しづらい環境になっていたのは良くない気がする。	
				言い方はキツイけど言ってることは正しい良い先生でした。	
				授業の内容も詳しいし、配付資料も理解できるし、一番いい先生だと思います。	
				説明が丁寧で分かりやすかった。時間をかけ過ぎて補講になったけど、分かりやすいし丁寧なので良かった。	
				授業の進度に合わせた対応が良かった。	
				難しいところは分かりやすく説明してくれたので良かった。	
				初歩的などころから丁寧に教えてくれて、厳しかったが自分の糧になった。	

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
				<p>予習をしても理解できないことが多くあったが、佐藤先生の説明は具体的な例を挙げていてとても分かりやすかったため、とても理解できた。</p> <p>授業中は厳しく、質問に行くとても丁寧な教えてくれたことが良かった点です。提出物を回収した後にコメントなどを言ってくれたのでやりがいを感じました。</p> <p>質問をときどきしたのですが、適切な解答をしていただいたので、とても役に立ちました。</p> <p>ロボットのトルクなどの話は興味があるので良かったです。</p>	
土方	3		電気機器	<p>黒板の字をもっと大きく書いてほしいです</p> <p>もう少し字を大きく書いてほしい</p> <p>黒板の字がキレイで見やすいのですが、字をもう少し大きく書いてほしいです。</p> <p>プロジェクタを使うときに電気を消し、そのまま黒板を使っていて暗くて黒板の字が見えなかった</p> <p>板書をするときに、回路だけでなく実際の危機の図を描いてもらえると理解の助けになると感じました。</p> <p>黒板の字が時々小さくて見えにくい時がありました。プリンターの調子などでもあると思いますが、その日にやるところのプリントはその日に配ってほしいです。その方が分かりやすいです。</p> <p>配布資料は単元に入る前に配ってほしい</p> <p>その日の授業内容のスライドをその日の授業の時に手元に欲しい</p> <p>スライドや板書で教科書のページを示していただけると勉強するときに参照しやすかったです。</p> <p>板書やメモを取る時間をもう少しいただけると幸いです。</p>	<p>黒板の字が小さくて見えづらかったようなので、次年度はもう少し大きく書くようにしたいと思います。ただ、講義中にも何度かお願いした通り、不足などがあればその場で言ってもらえるとすぐに修正できるので助かります。それと、教室の前半分の席が空いているので、前の方の席に座ってもらえればもう少し見やすくなるかもしれません。</p> <p>最初の講義で説明した通り、この講義は基本的には板書で説明を行います。電動機の動きを説明するような回はスライドを使用しましたが、それ以外の回は板書で説明が完結するように構成されていたと思います。板書の回の資料も一週遅れで配布しましたが内容は板書と同一で、補助的な資料として配布してほしいという要望に基づいて配布したものです。内容に関して不明点がある場合は質問を受け付けているので、ぜひ、質問をして疑問を解消して下さい。</p> <p>次年度から追加したいと思います。</p> <p>確認を取りながら進んだつもりでしたが、不足だったでしょうか。その場合は、ぜひ、時間が必要な旨を申告してください。</p>
今福	2	AB	材料力学(1)	<p>生徒に問題の解答をさせるとテンポが悪い上、字が小さくて見づらさを感じた。</p> <p>生徒に解説させるのはいいことですが、すべての時間をとって使うのはどうかと思う。だだの解説の場となっている。</p> <p>学生に解説させて終わりなので理解できないところをそのままにされ、分かりにくかった。</p> <p>クォーター制だと1週間体調がわるくなると2回事業をやすまないといけないため、授業についていけない。</p> <p>学生に問題を解かせるとき、一問一問書いていると時間がかかるから、一気に書いてもらえばよいと思った。浮いた時間で解説をていねいにしてほしい。</p>	<p>講義と演習のコマを半々入れた授業です。演習では事前に問題を解くレポート課題を与えています。学生の指名に当たっては、みなさんのレポート内容を見て選定しています。演習の時間では、解答の確認とともに、事前には解けなかった問題の解法の理解度アップにつながるように心がけて下さい。授業の受け止め方は、みなさんの心構えを反映していると思います。各自前向きに取り組んで下さい。</p>

2016年度前期 授業改善アンケート

担当者	学年	組	科目名	学生のコメント（原文のまま）	担当教員の回答
				<p>実験A：実験中に装置が正しく動くように準備してほしい。</p> <p>実験B：再提出の指示などをメールで迅速にしてくれたのでこちらも対応しやすかった。</p> <p>実験C：web上でのレポート採点状況確認ページについて、誤表記がないように気を付けてほしい、心臓に悪いです。</p> <p>実験D：実験中に装置が正しく動くように準備してほしい。</p> <p>実験E：ANSYSの操作マニュアルが見やすくよかった。</p> <p>実験F：pdf化したスライドの一部で、ベースの文章の上に図形がかぶさっている部分があって見づらかった。（副本スライド25）対応する資料のページを併記するなどしてほしい</p> <p>印刷する資料に、スライドを重ねて表示するものはできる限り使わないか、下が見えるようになってほしいと思いました。たとえ隠れているのが重要な内容でないとしても</p>	<p>実験装置の不具合について、実験Aでは改善を試みたのですが不具合が続いてしまいました。次年度に向けて検討します。実験Dは翌週から改善しました。レポートの採点結果については、次年度はWebClassを用いて結果を示すことを検討しています。スライドの重なりについては、問題があれば、その場で指摘してほしいと思います。</p>
				<p>実験Bのグラフについて、形状が正方形ではないとかいきすぎた指示があった。</p>	<p>正方形のものは、レポートでも正方形に描くのが当然です。</p>
				<p>印刷ポイントがほしいです</p>	<p>自分で負担すべきものです。</p>